



# 柏の葉だより



市川市立第五中学校  
第6号 令和4年10月3日

## 「学校教育目標」

学ぶ楽しさを知り 生きる喜びが分かる 心身ともにたくましい生徒の育成を目指す

## 2学期の学校



今年も、新型コロナウイルス感染症の第7波の中、不安な2学期のスタートがきられて1ヶ月が過ぎました。おかげ様で本校では大きなトラブルもなく学校生活を過ごしています。ウィズコロナのもと、学校生活はなるべく通常な形式にもどしていくようにしています。しかし大勢の生徒が集団生活をする学校では依然、3密防止の徹底などのコロナ対策は気を緩めることはできません。全体で集まるなどの場面では、リモートなどを上手に活用して新しい形式で学校生活をしていきます。今後ともご家庭のご理解、ご協力をお願いいたします。

さて、今年度の城山祭は14日(金)、3年ぶりに全体で行います。体育館に全校生徒を集めての形式はできませんが、リモートを活用して各学年の取り組みを共有していきます。3日(月)から城山祭準備期間もはじまり、クラスごとに団結した成果が合唱の歌声になってくれると思います。当日は進行をスムーズにするため、保護者の皆様の参観は3年生のみ、在籍するクラスの合唱をギャラリーから参観でお願いいたします。

城山祭が終了すると3年生は三者面談が始まり、進路選択に向けて大切な時期になります。また、2年生は中学校入学後初めてとなる校外学習(マザー牧場)が予定されております。1年生は来月(11月22日)に鎌倉校外学習を予定しています。

コロナ禍の学校生活ですが、少しずつ通常の学校生活ができるようになってきました。一人一台のタブレット、大型モニターを活用した授業展開・ドリルパークの活用などコロナ禍により推進された事業により、生徒たちの学習環境が向上しています。また、本校が推進している1日1ページノートの取り組みも粘り強く指導していきたいと考えています。

10月21日(金)は令和4年度の折り返し地点で、前期の教育活動の状況をお知らせする『通知表』を配付します。3年生には進路を選択する大切な目安になります。

進学・進級して半年、生徒たちはたくさんのことを学びました。コロナ禍での健康の大切さ。自分自身をよく知り、受け入れること。そして、自分を大切にすること。学習はやる気になれば、いつでも・どこでも・いくらでもできます。学校と家庭とが一緒になって励まし、子どもたちのやる気を引き出していきたいでしょう。

## 自主公開研修会

9月27日、自主公開研修会を行いました。

自主公開研修会とは第五中学校の先生方の授業を教育委員会の指導主事の先生や他校で優れた実践をしている先生方に見てもらい、指導を受ける機会です。

この日のために先生方は、指導案(授業の計画書)を作成し、同じ教科の先生方と検討し、27日の授業をしました。

教員は他の教員や外部の方に授業を見てもらい、指導を受けることが授業力向上のためには欠かせません。またほかの先生方の授業を参観することも大切です。第五中学校では自分の担当する教科の授業力向上や担任しているクラスの様子を知る機会として、10月7日までを相互授業参観期間として教職員同士の授業を参観する機会を設けています。教員の授業力向上を生徒たちの学力向上へとつなげていきたいと思っております。



<ALTの先生と英作文の伝え合い>



<未知の気体Xを調べる計画を立て実験>

## 今年も校長面接が始まりました

9月下旬より校長面接をしています。

校長室での質問事項は、まず現在の志望校を確認したのち、その志望校にそって、①志望理由②志望校までの経路の確認③高校生活に期待すること④将来の夢・希望⑤中学校時代の思い出⑥最近の時事問題について等、入試面接を想定した質問の後、時間があれば、反省・助言などを行っています。昨年度より30名ほど多いため今年度は教頭先生にも助けていただきながら進めていく予定です。面接という短い時間で、自分自身をどう表現できるか。コロナ禍の影響もあり人との関わりが少なくなっている現在、校長面接の機会を上手に活用して今後に生かしてくれることを期待します。

<文責・川俣>

五中 HP を  
ご覧ください

